

血漿分画製剤事業の現状



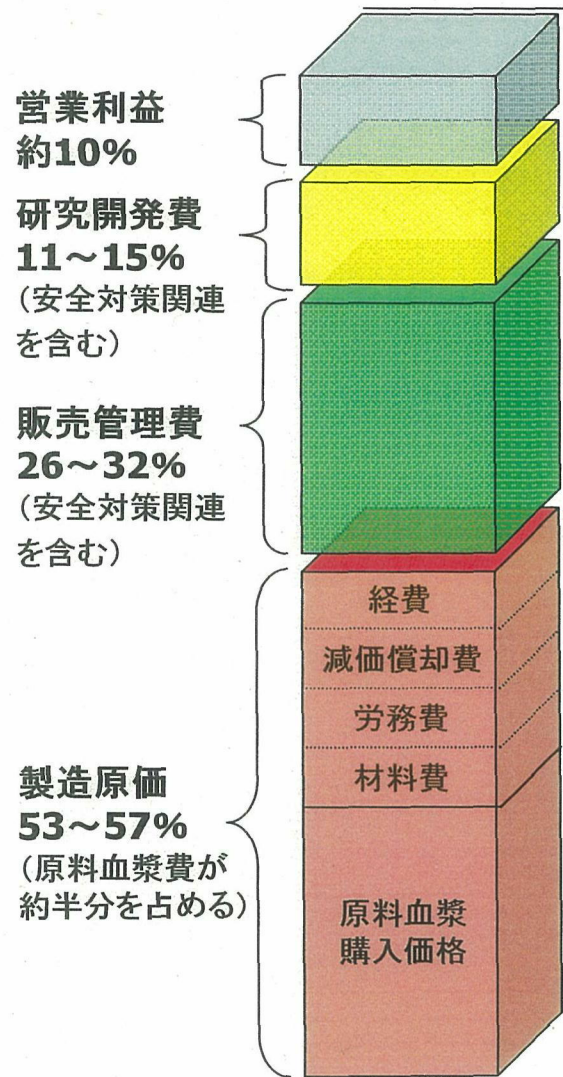
社団法人 日本血液製剤協会・国内 3 社

- 財団法人 化学及血清療法研究所
- 日本製薬株式会社
- 株式会社ベネシス

血漿分画製剤のコスト構造

血漿分画製剤事業

平成15年3月「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」資料より



市場縮小

安全対策は
売上に直接
寄与しない

新薬は
期待薄

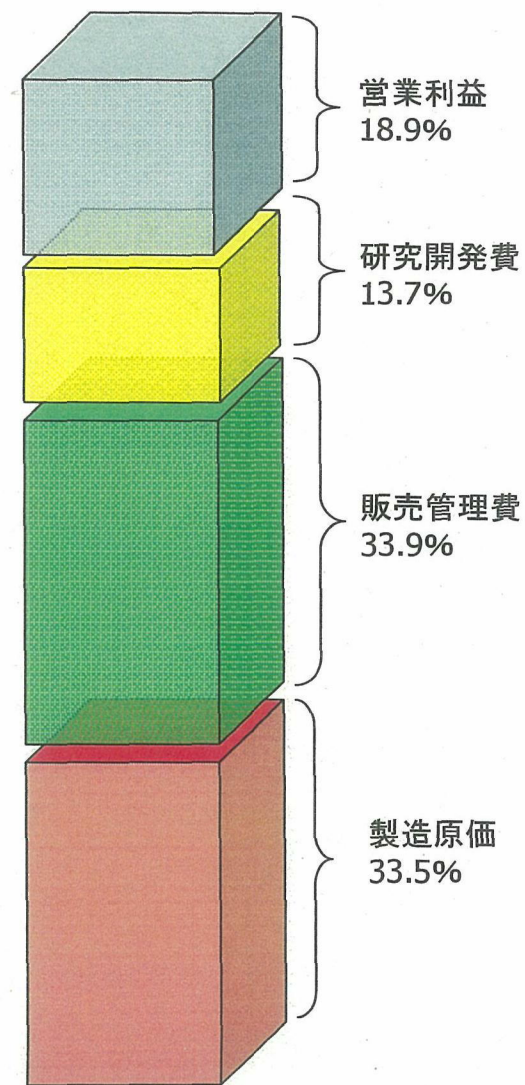
製造コスト構造の特徴

- 原料血漿購入費用が大きな割合を占める(原料血漿価格=分画事業者のコスト削減努力の及ばない部分)
- 連産品であることによるコスト分散の非効率性(国内需要に合わせた生産⇒未利用画分の発生)
- 安全対策強化のためのコスト
- 安定供給のための在庫コスト

【参考】

医薬品事業(東証一部上場31社)

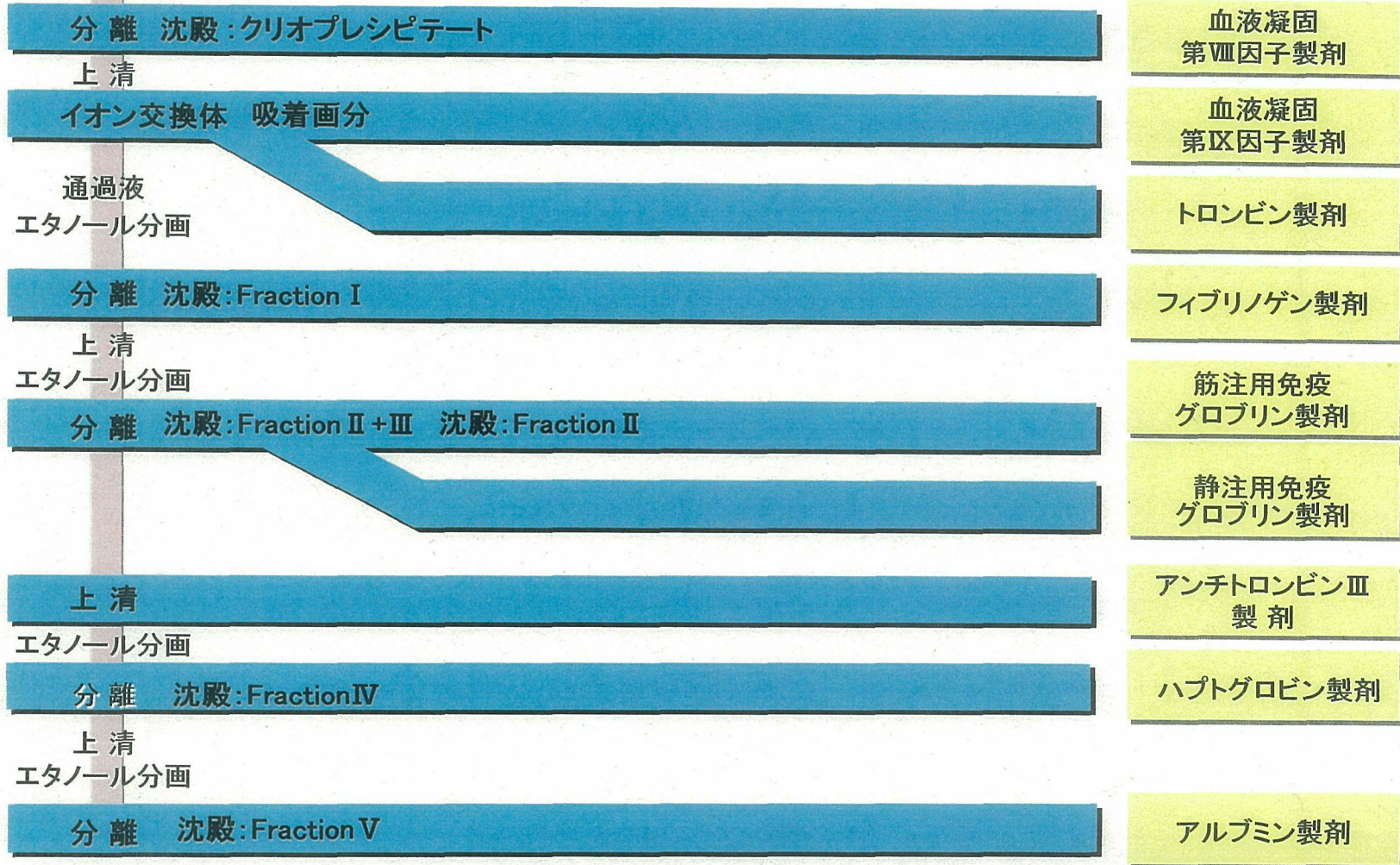
JPMA News Letter No.108 (2005年)より



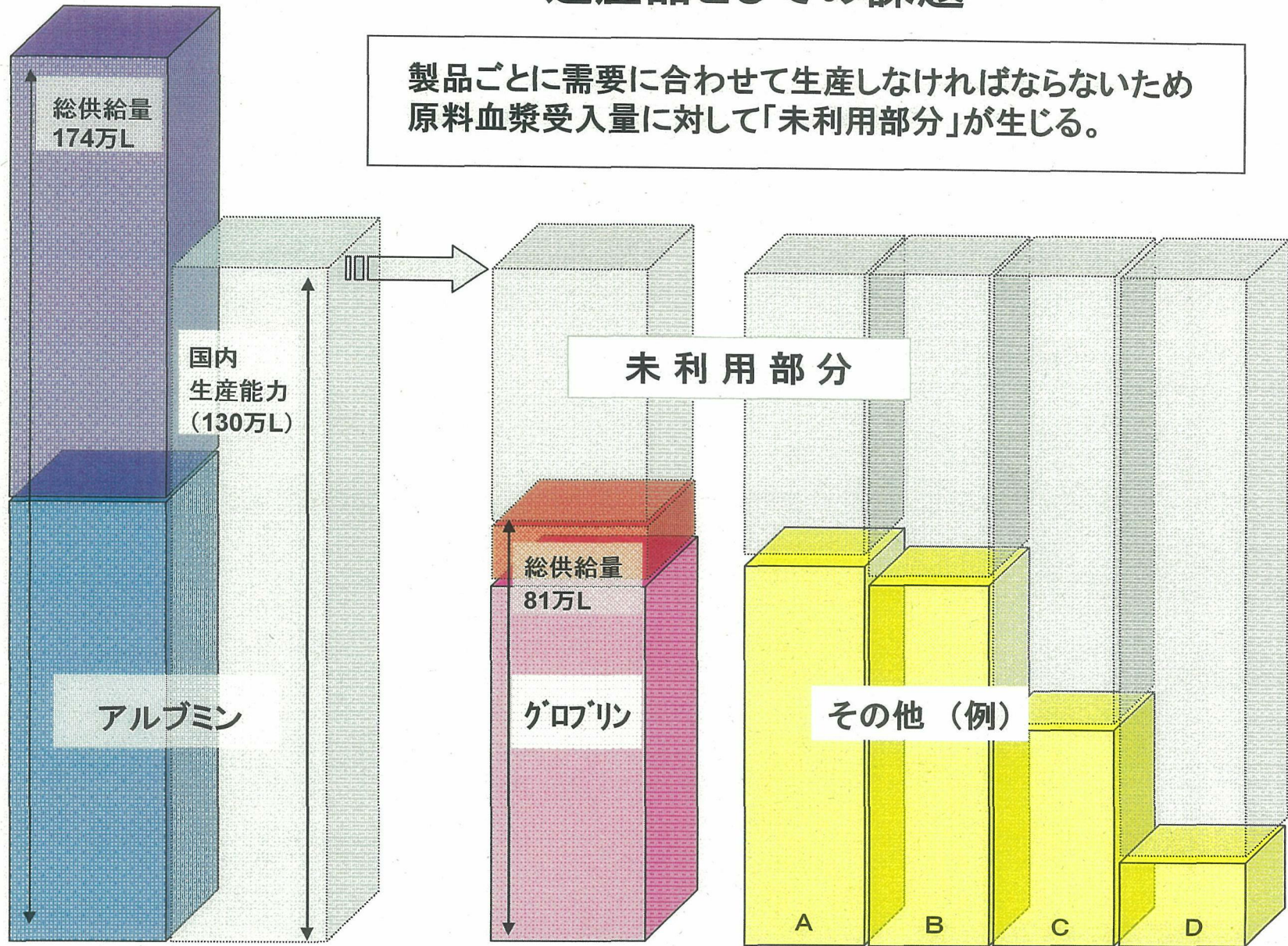
血漿分画製剤製造工程概略 (例)

凍結血漿
(融解・プール)
プール血漿

血漿分画製剤は連産品



連産品としての課題



(平成16年「第7回血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」資料を参考にしたイメージ図)